

平成26年度 第1回かまがや環境市民会議 会議録

- 1 日 時 平成26年7月10日(木) 午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 中央公民館 学習室4
- 3 出席者
  - (1) 委 員 齋藤弘誌会長、田中満副会長、小出達雄委員、佐川幸江委員  
西坂正吉委員、鈴木吉夫委員、廣川満代委員、坂根豊希委員  
行森光子委員、倉田智子委員、多紀晶子委員、飯田文夫委員  
篠崎仁委員
  - (2) 事務局 山崎環境課長、小松崎課長補佐、横山主事、山田主事、春日主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 平成26年第1回かまがや環境市民会議
  - (1) 開 会  
(事務局)  
新たに廣川委員が委嘱されたことを報告。  
新委員の廣川委員よりあいさつ。  
(会 長)  
ただいまより平成26年度第1回かまがや環境市民会議を開催いたします。
  - (2) 事業等報告  
(事務局)  
資料1～5、参考1～9に沿って、2014かまがや環境パネル展、緑のカーテン普及事業、住宅用省エネルギー・再生可能エネルギー設備設置費補助金制度、環境講座年間予定についてそれぞれ報告。
  - (3) 議事  
<議題 第6回かまがや環境フェアについて>  
(事務局)  
資料6～7、参考10～12、当日配布資料1に沿って事務局案を説明。  
【テーマについて】  
(会 長)  
まずは第6回かまがや環境フェアのテーマから考えていくこととします。  
(A委員)  
案7に「鎌ヶ谷」を足すと良いと思います。

(B委員)

案2の文言を入れ替えた方が地獄的なつながりが感じられるのではないかと思います。「自然をつなぐ かまがやでつなぐ」というのはどうでしょうか。

(副会長)

テーマに限ったことではありませんが、市長が「安心安全で住みよいまちづくり」を推進していますが、「きれいなまちづくり」を目指してほしいです。鎌ヶ谷市はゴミが多いです。

(C委員)

基本的にはどれでも問題ないと思います。ただ、テーマがテーマ作りのためのものではないように感じます。今年度の重点目標が何かあれば、それに沿って決めるのが良いと思います。

(D委員)

毎年大きなテーマになってしまうので、身近なテーマで何か若い人たちへ啓発できたらいいのではないのでしょうか。

(E委員)

B委員の意見に賛成です。「鎌ヶ谷」が入っている方がいいと思います。

(会長)

多数決の結果、今回のかまがや環境フェアのテーマは「自然をつなぐ かまがやでつなぐ」に決定します。

#### 【環境フェアの主催者・実施者について】

(会長)

前回同様、主催者：鎌ヶ谷市、実施者：かまがや環境市民会議ということでよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし

#### 【内容について】

(A委員)

当日の午前中に報告会やワークショップを行うことはできないでしょうか。

(事務局)

28日当日は展示パネルの前に机を設置し、団体と来場者がコミュニケーションをとれるようにしたいと考えています。朝からホール自体は予約していますので、午前中にワークショップ等を行っていただくことは可能だと思います。ただ、同日に平成26年度鎌ヶ谷市総合防災訓練が実施予定である関係で、来場できない方がいらっしゃるかと考えます。

(会 長)

午前10時から12時の間は、各団体の裁量で発表等を行ってよいということでしょうか。

(事務局)

部屋は確保しているので可能かと思います。

(会 長)

各団体の方々には各自のブースの前に1名は常駐している方が良いでしょう。事務局で団体に参加決定通知をする時に、その旨を注意書きとして明示しておいてほしいです。

(事務局)

承知しました。

(事務局)

上映候補となっている映画3タイトルについて概要説明。

(F委員)

集客で考えるかテーマに合わせて考えるかどちらがよいでしょうか。

(E委員)

こどもを対象にした上映となると、内容が難しいものは避けた方がよいかと思えます。

(B委員)

話題性のあるものなら集客できると思います。

(J委員)

大人がこどもには難しいのではとってしまうようなものでも、意外とこどもにもわかるのではないかと思います。小さなこどものいる保護者の方もこのような機会なら来ていただけるでしょう。

(会 長)

では集客を考えて上映タイトルを決定することとします。

(会 長)

次回の会議で、事務局には委員の役割分担案を提示していただきたいと思えます。

(事務局)

承知しました。

**【平成26年度第2回かまがや環境市民会議について】**

(会 長)

次回の会議は8月上旬に開催します。

(4) 閉 会

(会 長)

他にご意見がないようですので、以上で平成26年度第1回かまがや環境市民会議を終了します。

以上、会議の経過を記載し、相違ないこと証するため、次に署名する。

平成26年 9月 9日

署名人 鈴木 吉夫 \_\_\_\_\_

署名人 西坂 正吉 \_\_\_\_\_